

うえむら 上村和子 市議会レポート

一人一人の人權が大切にされる町に*誰もがのびのびと生活できる町に

小さな声を大切にするまちづくりを

上村和子・3期目もがんばります!



私が初当選した1999年の市議会議員選挙。掲げたスローガンは「本道の民主主義を国立で創りたい」というものでした。2期目の2003年の選挙では「今こそ生きる権利を市民の手で!」をスローガンに掲げて当選を果たすことができました。

そして、今年4月。私は8年間の議員活動での実感に基づき、「小さな声を大切にすまちづくり」を新たなスローガンに加えました。

選挙運動期間中、このスローガンに響きあうように、高齢の方々、しやうがいをもった方々、シングルマザーの方々、在日コリアンの方々、中国帰国者の方々、それに、個人商店の方々、多くの悩みを抱えた若者



「小さな声」は、その多くが、現代日本の社会構造の下で弱い立場に立たされている人々の声であり、政治の場になかなか届かない声です。しかし、その「小さな声」に答えることができる政治が、いま、最も必要とされています。

私は、「小さな声」のひとつひとつに耳を傾け、声を発した人たちと一緒に考えて、それぞれの方が抱えている問題を解決していきたいと思っています。私たちの税金はそのためにこそ使うべきだと思えます。市の税金はもとよりですが、応分の負担を都や国にも求めていくべきでしょう。

関口市長は、対話と現場を大事にすると思えば明かされています。私はその基本姿勢を評価します。そして、関口市長がその言葉を確実に実行されていくよう、議員として、十分にチェックしていきたいと思っています。

上村和子と市政を語る会

ご案内

8月26日(日)午後1時半～

会場 くにたち福祉会館 3F 講座室

- 9月議会を前にして、さまざまな「小さな声」をお聞かせください。
- 6月議会の報告もあわせて行います。
- 選挙後初めての集まりです。ぜひお越しください。



写真右2枚は、選挙運動中の上村和子と応援のみなさん。

上村和子の一般質問

6月議会の一般質問で、上村和子は次の6点について質問、市長からは(一)以下の答弁がありました。

①小さな声を大切にすまちづくりを推進していくためには、当事者参画をさらに進める必要があると思うが、どうか。↓(市長)当事者参画は進める。

②国の税制改革により、65歳以上の人々の税負担が増している。国立の場合、約

1億3000万円になる。これは、高齢者福祉に還元すべきと考える。市は、65歳以上の方々への影響について実態把握を早急に行い、当事者の声を聞く場づくりが必要ではないか。↓(市長)

(上村和子) 税収増の高齢者還元を ↓(市長) 検討します

検討する。

③国立市は、「しようがいしゃがあたりに暮らすまち宣言」を行い、日本ですべて初めて当事者による計画を作り、ワーキンググループ

市議会6月定例会

としても狭いと感じました。

この学童に通うのは六小の子どもたちです。踏み切りや甲州街道を渡って通学する子どもたちができるだけ家のそばにスペースの確保が必要です。市長に具体策を講じるよう要請しました。

③悪質な違法建築の撤去を求める請願、採択は少数

第五商業高校南側の第一種低層住居専用地域(高さ制限10メートル)に、制限一杯に建てられている3階建てマンションの屋上に、平屋を増築する工事が4月28日に突然始められました。その撤去と指導強化を求める、近隣の住民からの請願です。

この建物は、①建築確認をとっていない、②役所が休みの日に工事、③東京都から工事中止の指導を受けても、

プ活動が活発になされている。関口市長は、市議の時に、この制度を積極的に定着発展させることを提案しているが、その提案を実践するか。↓(市長) 検討する。

④母子家庭の自立及び子育て支援基金の活用について、明確なビジョンが示されないまま2年が経過した。なぜ検討委員会を立ち上げることができないのか。↓(市長)当事者の声が反映

無視して工事を続行、④使用禁止の赤紙が貼られても使用を開始、など極めて悪質な違反建築物です。

しかしこの請願は多数決で趣旨採択(実質的な拘束力は乏しい)となつてしまいました。採択は上村和子と共産党・民主党・社民党の7人のみでした。

④私道整備の陳情、趣旨採択に終わる

1975年にできた私道整備の条例の現行は、幅員3メートル以上で長さ30メートル以上、かつ接道家屋5世帯以上の道路が整備対象です。しかし、生活道路である私道は、たとえこの条件に満たなくとも、高齢者やしようがい者などが安心して歩けるための整備が必要です。

⑤低周波音被害の啓蒙と公共事業に関する陳情 3月に続き趣旨採択

3月議会の請願に引き続き上村和子が紹介議員となった陳情ですが、趣旨

できるような努力する。

⑤誰もが暮らしやすい環境整備について、しようがいしゃ団体によりバリアフリーの実態調査が始められている。ワーキンググループがまもなく発足するが、その提言を有効なものにするためには、福祉部だけでなく、建設部や総務部との連携が必要と考えるがどうか。また、交通バリアフリー法に伴う基本計画の作成が必要と考えるがどうか。↓(市長)検討していきたい。

⑥不在の教育長について、市長の考える選任にあつての条件は何か。↓(市長)人を今探し中であり、9月議会までに示す。

採択となりました。

今国立駅周辺の工事などで低周波音の被害者が出ています。被害の測定ができ、被害者の相談にのれる、音源にあたる事業者を指導し、被害者の方との調停もできる、そうした行政である事が大切です。

⑥清化園プール跡地に温泉等の保養施設をとの陳情 上村和子のみ趣旨採択

清化園の跡地利用については、6月15日で第1次事業者の応募が締めきれ(15事業者から応募があり、ほとんどが商業施設。温浴施設、レジャー施設が各1つ)、後は選定委員会の作業にゆだねられることになっています。

選定委員会では、応募業者の企画案を審議し、上位5社を絞り、その事業者による市民説明会を10月に開き、今年中には決めるとの事です。

議案に対する上村和子の賛否

①国民健康保険条例改正案に反対

市の改正案では、義務教育就学時までの子の医療費負担を3割から2割へと軽減する一方で、70歳〜74歳は1割負担を2割へと引き上げます。反対は上村和子1人でした。

②矢川学童館の施設整備予算

矢川児童館1階の調理室を、増えすぎた学童の部屋に暫定的に利用するため、エアコン、出入り口、テラス等の整備をおこなうものです。学童の今の定員は99人。視察しましたが、児童館スペースがかなり窮屈となり、学童だけ

〔上村和子 6月議会賛否一覧〕

議案	件名	結果	上村	説明
第30号議案	市道路線の廃止について	原案可決	○	
第31号議案	国立第一小学校校舎地震補強等改修工事第一期(建築工事)請負契約について	原案可決	○	
第32号議案	国立市組織条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	
第33号議案	国立市市税賦課徴収条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	
第34号議案	国立市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	原案可決	×	→①
第35号議案	平成19年度国立市一般会計補正予算案	原案可決	○	→②
第36号議案	平成19年度国立市国民健康保険特別会計補正予算案	原案可決	×	→①
請願第2号	悪質な違法建築に対し、撤去及び指導を強く求める請願	趣旨採択	○	→③
陳情第2号	私道整備に関する条件緩和についての陳情	趣旨採択	○	→④
陳情第3号	低周波音被害の啓蒙と公共事業に関する陳情	趣旨採択	○	→⑤
陳情第4号	国立清化園プールの跡地に温泉等の保養施設を求める陳情	不採択	趣旨採択	→⑥
議員提出第5号議案	後期高齢者医療制度への国庫負担引き上げを求める意見書案	原案可決	○	

そうした状況を受け、車イスのしょうがいのある方から出された陳情です。

高齢者やしょうがい者の方々がゆったり、ゆっくりくつろげて、リラックスして食事ができ、血行が良くなり、筋肉もほぐれて、健康にとつて大切である、交流の場にもなる、といった事を陳情者は訴えていました。大変共感できるものでした。

しかし、採択するにはタイミングが悪いということで、趣旨採択は私ひとり、結果は不採択となりました。

6月議会傍聴記

「熱意」の和子さん、「平静」の関口市長

6月15日金曜日、上村和子市議の一般質問の傍聴に行きました。前回、3月議会に続いて2度目、関口市政になり初めての議会傍聴となります。

感想を一言でまとめますと「静かだったなあ」です。和子さんは前回と同じように、熱のこもった声で質問を市長や福祉部長らに投げかけていま

た。はじめのあいさつから力強い声でした。関口市長からは「前向きに……検討します」との答弁が多く、私は少し明るい気持ちになりました。公私混同せず、国立市の政治を取り進めてくれそうだなという印象を受けました。

ただし「冷静」ではなく「平静」という印象です。必死に質問をぶつける和子さんとの温度差を感じました。

議員席全体が静かで、和子さんが一人相撲を取っているようにも私には見えませんでした。

私が「平静」と感じた理由は他にもあります。「市役所」や「議場」が近寄り難い場所でなくなったこと。「一般質問の傍聴に行くこと」が「偉いこ

と」思わなくなったこと。そして「議員」は「偉い人である」という思い込みがなくなったことです。これらは、和子さんの選挙活動を通し学んだことです。

もっとたくさんの人に議会を見に行つてほしいと思いました。特に若い世代の人に。どのような議員がどのような政策を進めようとしているのか、自分の目で確かめてきてください。頭の中でだけ考えるのではなく、行動に移してほしいのです。市政を身近に感じることができれば、都政も国政も私たちの人生を左右するものであるという想像力が身につくでしょう。

(国立市M・M 23歳)

夕張市などを視察

7月1〜4日、女性議員4人で北海道夕張市、恵庭市、栗山町を訪問しました。

夕張市で私たちが会った市民の方々、行政職員や議員までが、財政破綻の事実を6月10日の北海道新聞で知ったと言われました。財政難を感じていたが、まさか破綻するとは思わなかった。なぜ知らなかったのでしょうか？総括はまだできていません。



ということですが。市役所はガラソンとしていました。その中にあって多くの市民は自分たちの努力でまちの再生に向けてがんばっていらっしやる。そこに、市民の力を感じました。

破綻から1年たつて、公共料金の値上げ、職員数半減、救急医療がなくなると、じわじわと実感が出てきた

栗山町は議会基本条例を作った町です。市民団体の希望があれば懇談会を開き、議員同士の自由討論を行う、執行権側の審議会には議員を送らない等々、興味深いものでした。(写真はガーデンシティのまちづくりを進める恵庭市の中島市長と)

上村和子活動日誌 2007.4~6月

- 4月15日 国立市議選、公示
- 22日 市議選投票日、即日開票 1154 票で当選
- 27日 国立市しょうがい者団体等連絡協議会（国しょう協）に出席
- 30日 立川アイムでのピースサインコンサートに出席
- 5月7日 ・地域参加型介護サポート事業ワーキンググループの会合を傍聴
・在日しょうがい者・高齢者の無年金問題を考える会に出席
- 9日 国立市議会・議員懇談会
- 11日 国立市福祉団体等連絡協議会を傍聴
- 13日 川田龍平さんを応援する会に出席
- 14日 ・第五商業高校近くの違法建築問題（請願）で市民の話聞く
- 15日 国立市災害弱者ワーキンググループの会合を傍聴
- 16日 ・私道整備の件（陳情）で市民の話聞く
・秋のふれあいコンサート打ち合わせに参加
- 17日 国立市総合防災協議会を傍聴
- 18日 臨時市議会。福祉保険委員会、国保運営協議会委員への所属が決まる
- 21日 「若者とDV」の学習会に出席
- 22日 「砂川基地闘争記録映画」の上映会に出席
- 23日 多摩全生園での「新厚い壁」上映会に出席
- 24日 ・青柳地域で情宣活動を行う
・ひとり親基金の活用懇談会を傍聴
- 25日 メグさんの性教育講演会に出席
- 26日 東地区育成会総会に出席
- 31日 市民と議会の情報公開のあり方についての勉強会を開催
- 6月1日 川田龍平さんを応援する立川アクションに参加
- 3日 ひとり親基金活用の意見交換会に出席
- 4日 在日しょうがい者・高齢者の無年金問題の国立学習会準備実行委員会に参加
- 6日 私道整備（陳情）の現地調査
- 7日 国しょう協に出席
- 8日 6月市議会初日
- 9-10日 広島で開催された「ピアルフースト全国大会にしょうがいしゃの皆さんと参加（写真上）」
- 11-15日 市議会一般質問
- 16日 「沖縄に基地はいらない」の学習会に出席
- 17日 川田龍平さんを応援する会に出席
- 18日 市議会・総務文教委員会を傍聴
- 19日 ・市議会・建設環境委員会で、悪質な違反建築物の撤去を求める請願の紹介議員として趣旨説明
・矢川児童館視察
- 20日 市議会・福祉保険委員会
- 21日 市議会・一般質問
- 22日 ・かたつむり総会の記念講演「車イスの議員」に出席（写真下）
・子どもの権利条約を読む会に参加
- 24日 集会「市民活動がひらく未来」に参加
- 25日 隠岐島海士町の修学旅行生ホームステイ受け入れ
- 26日 市議会・最終本会議
- 28日 国保運営協議会に出席
- 30日 国立市主催「写真で見る朝鮮学校の歩み」の講演会に出席



上村和子と歩む会 井上スズから一言

「小さな声を大切にすまちづくり」を訴えた上村議員
国立市長及び市議選選挙が4月に行なわれました。

上村和子議員は3期目をめざして立候補し、高齢者・しょうがいしゃ・子ども・女性等の「小さな声を大切にすまちづくりを」と街頭で訴えました。

皆様方の熱い御支持をいただき当選できました。社会的弱者の切り捨てが目にする今、住民の暮らしを守る自治体の責務はますます重要になってきています。上村議員は当事者の立場にすぐになれる稀有な議員です。一人会派の議員として、是非々の姿勢を貫ける議員でもありません。

今後ともよろしく御支持をお願い申し上げます。し上げ、お礼の御挨拶いたします。

新しいお酒は新しい皮袋に！

さて、国立の市長が変わりました。「よかった。」と私は評価しています。ただ、選挙中から気になっていることがあり、苦言を述べておきます。

関口市長は前市政を総括し
独自の市政展開を
それは選挙公報に掲載された公約の「市民参加の上原市政を受け継いで伸ばします！」に、私は異議がある、と確かに「市民参加と情報公開」は前上原市長の公約でした。しかし、前市長は、この2点の公約を実行しませんでした。市民参加についての例を一つあげます。国立駅舎を円形公園に曳く案についてです。この案が示された時、私は、間髪を入れず、反対であるとの

意思を伝えました。ところが、前市長は市民である私の考えを一顧だにせず、この案を3回も議会で提案しました。そして、3回とも否決されたのです。

また、情報公開について、六小校地買収の件については市民への情報提供は皆無でした。市民不在のまま、3月

私の期待は前市長の市政の総括をきびしくやり、関口市長独自の市政を展開することです。国立に根を張り、市政を忘れないことです。

悪質な違法建築への請願を
趣旨採択 にした与野党
新市長・新議員初の6月定例議会に「悪質な違法建築に対し、撤去及び指導を強く求める請願」が提出されました。紹介議員は上村和子議員。6月19日の建設委員会を傍聴しました。誰が見ても、聞いても、建築確認の申請も出していない明らかな違法建築です。それなのにギイン先生方は、見逃してあげたいのかどうか、この請願を巡り、延々と発言、審議されました。結果、自民党・明政会・公明党の野党ギインに歩調を合わせ、ネット・新しい風の与野党ギインまでもが「趣旨採択」にする、という有り様。関口市長の与野党ギイン一部のお粗末さに呆れると同時に、関口市政も心配になってきました。